

特別連続有給休暇、記念日休暇、 プロジェクト休暇制度、リフレッシュ休暇



人事部
デザイナー

滝本 絵理 さん(左)

人事部
プロデューサー

澤中 克之 さん(右)

企業プロフィール

- 事業内容: 東京海上日動火災保険、東京海上日動あんしん生命保険等、東京海上グループの情報システムの企画・提案・設計・開発・保守・運用
- 従業員数: 1,381名(2014年4月1日現在)
- 年次有給休暇の取得率: 49.3%
- 年間休日数: 120日
- URL: <http://www.tmn-systems.co.jp/index.shtml>

気持ちを新たに仕事に向き合える 環境づくり

実践!

こうすればできる!
こうすればのびる!

- ① 社員の要望を聞きながら制度を構築
- ② メリハリのある働き方を推進
- ③ 管理職自らが率先して長期休暇を取得

年2回も旅行に行ける!? 「特別連続有給休暇」「記念日休暇」

当社は2004年に東京海上システム開発と日動火災システム開発、東京海上コンピューターサービスの3社が合併。以来、10年かけて社員の要望を聞きながら、休暇制度や勤務時間、働き方に関する制度を構築してきました。休暇制度の中で最も活用されているのは、「特別連続有給休暇」です。好きな時期に年10日間の有給休暇を付与するもので、10日間連続して休むほか、5日ごと2回に分割して取得できるのが特徴です。そのため、多くの社員が夏休みに一度、5日間と土日合わせて1週間の休みを取り、さらに秋冬にもう一度、1週間の休みを取るなどしています。「特別連続有給休暇」の取得率は99%。ほぼ全社員が取得しています。

また、年1日有給で、ご自身が定めた記念日に休むことができる「記念日休暇」も好評です。お子さんの誕生日や、仕事をがんばった記念でもOK。何の記念日か聞

かれることもなく、証明書を提出する必要もありません。「特別連続有給休暇」と合わせて取得する社員もいます。

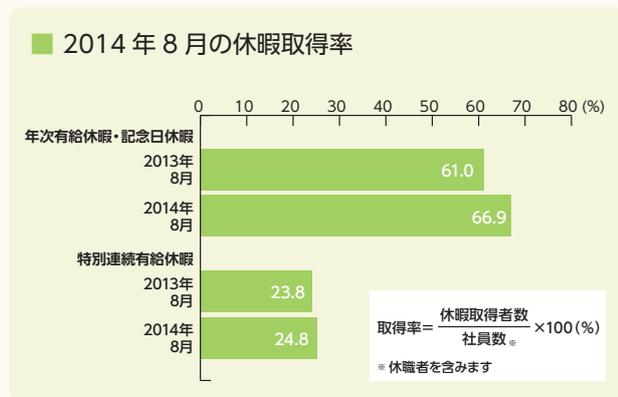


「プロジェクト休暇制度」で 働き方にメリハリを

当社はシステム開発を主な業務としており、プロジェクト期間中は繁忙期にあたり、それが終わると休みやすくなります。そこで、プロジェクト終了後に心身をリフレッシュさせ、英気を養ってもらおうと、「プロジェクト休暇」という特別休暇(有給で年1回2日)を設けています。社員の健康管理の面で大切な休暇だと考えています。

また、2014年8月は、メリハリのある働き方の実現に向けて、夏休みとして「年次有給休暇」「記念日休暇」「特別連続有給休暇」を活用することを奨励。長期の夏休み

取得が難しい人は「年次有給休暇を1日取り、週休3日に見ませんか?」といった啓発活動を行い、働き方の改善を促しました。その結果、昨年に比べ、8月の年次有給休暇と記念日休暇の取得率は5.9%向上しました。



長期休暇の取得につながる「リフレッシュ休暇」

長期にわたって勤務してきた社員に対する慰労とリフレッシュの観点で設けられたのが「リフレッシュ休暇」です。勤続5年ごとに5日から最大15日の有給休暇を付与。5年と15年は5日、10年と20年で10日間、25年で15日の休暇を取得できます。この「リフレッシュ休暇」と「特別連続有給休暇」については、毎年、「必ず取得してください」と社内に通達しています。休暇取得後、「久しぶりに入社した」という管理職もいたり、まさにリフレッシュするための休暇となっています。気持ちを新たに仕事に向き合う意欲が他の社員にも伝わり、士気が高まるとともに、休みやすい空気も作られています。

制度活用事例

休暇制度をフル活用してニューヨークへ短期留学 (星野さん)

昨年、勤続6年目となり、5日間の「リフレッシュ休暇」をいただきました。それに、10日間の「特別連続有給休暇」をつけて、土日もはさみ、「記念日休暇」もプラス。計約3週間の休暇を取り、英語を学ぶために渡米。ニューヨークでホームステイをしながら短期留学してきました。休暇制度をフルに活用させていただきました。

入社当時から「5年勤めたら短期留学する」と決めていて、入社3年目から週末は英会話スクールに通っていました。もともと、海外旅行が好きなので、これまでも「特別連続有給休暇」を利用して、毎年、アジアやヨーロッパ旅行に行っていました。ニューヨークは3回目です。現地では、午前中は語学学校で英語を学び、午後は観光やミュージカルを楽しみました。ミュージカルは3週間で10本もの作品を鑑賞。本当に貴重な経験をさせていただき、感謝しています。

今後も英語力をブラッシュアップして、5年後には、仕事で海外に行けるようになりたいと思っています。そうならば、次の勤続10年でいただける「リフレッシュ休暇」は、海外ではなく、国内でのんびり過ごしていると思います。

「リフレッシュ休暇」で沖縄・北海道の大自然を満喫 (中西さん)

星野さんと同期で、昨年、勤続5年の「リフレッシュ

休暇」をいただきました。私の場合は、10日間の「特別連続有給休暇」と5日間の「リフレッシュ休暇」を合わせて約3週間の休暇を取りました。昨年は人事部で新人研修の講師をされていて、その後、今の部署に異動。異動となるタイミングで休暇を取得しました。

休暇の前半は沖縄、後半は北海道に行ってきました。弊社がある東京の多摩センターも緑多い場所ではありますが、「休みの日は大自然に囲まれたい」という思いがあり、沖縄では石垣島や西表島、北海道は知床、網走、羅臼、釧路を回ってきました。休暇を取得したのが10月なので、沖縄は台風が多かったのですが、スキューバダイビングを楽しみ、一方で、北海道では、世界遺産になっている知床で初雪を体験しました。同じ季節なのに、気候も風景もまったく違って、自然の大きさを肌で感じてきました。

こうした大自然の中で過ごす気持ちが一変され、仕事への意欲がみなぎります。現在、サブデータセンターの移転プロジェクトの全体推進という大きな仕事に関わっていますが、とても前向きな気持ちで向き合っていると感じます。



商品第一本部
商品システムデザイン二部
デザイナー

星野 晴香 さん(左)

IT サービス第一本部
ITSM 推進部
デザイナー

中西 祐介 さん(右)